

# おたのみにす

Vol. 4

2022. August

4号 2022年 8月発行

発行／一般社団法人やす地域共生社会推進協会

〒520-2361 滋賀県野洲市北野 1-9-18

チーフ／八ツ文ビル4F(309)

発行者／理事 長 川口ひとみ

編集人／奥野 孝史

お問合せ／mail : yasuchiky@nmail.com



## 7月6日(水)、野洲で初めてとなる「おとな食堂」が開催されました。

子ども食堂は聞いた事あるけれど、おとな食堂ってなに?と思われの方も多いと思います。

子ども食堂とは、地域住民や自治体が主体となり、無料または低価格帯で子どもたちに食事を提供するコミュニティの場で、東京都大田区にある八百屋の店主が2012年に始めた活動で現在は全国に広がっています。

やす地域共生社会推進協会の会議の中で「この地域では、こども

食堂のおとな版があってもいいんじゃないか」という意見が出て、それを現実にとってみたそうです。このフットワークの軽さがやす共(やす地域共生社会推進協会)の特徴です。コロナ禍で、在宅、孤食、我慢の日々をお過ごし地域の人に「誰かと一緒に食べる楽しさ」をご提供したいというのがベースの考え方ということでした。この日は、コロナ対策も万全に

行い、総勢12名の人間が同じ料理を食べて2時間を過ごしました。一緒にご飯を食べながら、ゆっくりお話を聞くことにより日常の課題や地域に必要なものが少しずつ見えてきており、今後はそのニーズをやす共の中で共有し、やす共の参加メンバーの中で事業化などに繋げてゆくことで、より住みやすい野洲・地域に必要な企業やサービスが生まれる野洲になつてゆくという「商助モデル」を作

ることを目指しています。開催された当日は、家政婦歴10年の方が心を込めて、美味しい料理、楽しい時を過ごせる様にと工夫し、高齢者をお迎えしました。今後毎月1回ペースで開催とのこと、実行委員長の大西ハウスサービスの大西さんは「人生の先輩方とお話出来るおとな食堂は私たち自身も楽しくしております。お気軽にお越しください」と話されています。



## 行動の基本指針は「自分事として一緒に考える」

あなたが先祖から受け継いだり、自ら築き上げた大切な財産。

多くの不動産会社は“土地活用”という言葉と共に業界内で決まった流れに誘導していきます。

そして契約書が進めば、それで終わり。

私は、その流れやところも含めて「一緒に考えてみる」ことを基本に、その後も「一緒に考えてみる」ことを進めたい。家族や兄弟とも調和をとっていききたい。

そんなご要望に、自信をもって誠心誠意対応させていただきます。お気軽に電話相談からどうぞ。



Kーサイド不動産株式会社

〒520-2342 滋賀県野洲市野洲 912-10 TEL: 077-599-3267